

第1章 山陽小野田市の将来像

1 まちづくりの基本理念

時代の新しい胎動や、地域特性、アンケート等による市民の様々な意見を考慮し、本市の新たなまちづくりの主理念とまちづくりを進めるにあたっての取組理念を以下のように設定します。

主 理 念

(1) 生活の質を重視した「住み良さ」の創造

近年、「心の豊かさ志向、生活の質の向上の高まり」がみられるように、人々の関心は、経済的なものの豊かさから、ゆとりや、やすらぎなど心の豊かさへと移行し、生活の質を高めることが望まれています。

このような背景の中、「市民の安心・安全の確保」や「まち全体の活力」を基本としながら、生活利便性に加え、地域社会における人と人とのふれあいや自然とのふれあいを通して、住み良いと感じ、「住み良さ」を誇りに思い、住み続けたいと思える生活環境の創造を目指します。

取 組 理 念

(2) 多様な組織や市民との協働による「住み良さ」づくり

住み良い地域づくりを追求するため、より良い公共的なサービスを提供するとともに、民間事業者やボランティア、NPO法人など多様な組織や市民との協働によるまちづくりを目指します。

(3) 地域資源を活かした「住み良さ」づくり

市民の生活ニーズに対応した「住み良さ」を追求するために、市の持つ幅広い産業構造や大学など、様々な物的、人的資源を効率的に投入するとともに、地域で暮らし、活動する人すべての知恵と力を結集して、地域資源を活用したまちづくりを目指します。

(4) 多元的なネットワークによる「住み良さ」づくり

現在の厳しい財政事情の中、地域の自立のために必要な生活機能の全てをその地域だけで賄うことは困難です。近隣都市、拠点都市との連携や、市内部の地域間での連携など多元的なネットワークを形成し、広域的な視野によるまちづくりを目指します。

2 将来都市像

4つのまちづくりの基本理念を基にして、次のような将来都市像を設定します。

本市は、「市民の安心・安全の確保」「まち全体の活力」を基本とし、人情豊かな地域社会と市民の自然等への愛着や誇りを大切にしながら、生活の中での豊かさが享受でき、子どもからお年寄りまで安心して、いきいきと住み続けられる「住み良い」地域づくりを進めていくため、

人と出会い 支え合い 自然とふれあう 活力ある 住み良さ創造都市

～子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる心豊かなまちを目指して～

を、将来都市像にかかげ、本市に暮らす人々の地域への愛着と誇りを醸成し、その実現に努めます。

<基本理念に基づく将来像のイメージ図>

